

## 第7回長島おさかな祭り大盛況!!



↑ステージ上で行われたブリの解体ショー。多くの来場者が固唾をのんで見守る



↑ブリ三味の試食を楽しむ来場者



↑模擬入札では1箱3千~1万7千円で落札



漁業が盛んな本町の特性を生かした長島らしいイベント、第7回長島おさかな祭りが11月23日、薄井漁港でありました。

3連休の中日ということもあり、会場にはイベント開始前から、多くの来場者でにぎわい、同祭りでは最多の約1万9300人が訪れました。

本浦小学校児童らによるオープニングセレモニーのあ

と、地域戦力協議会長の長元信男東町漁業協同組合代表理事組合長が「今年はブリが好調。現在ブリの輸出は24か国に上り、その数は年間約22万本。5年後には50万本の輸出を戦略としたい。今日は美味しいブリのほか海の幸を味わって」とあいさつしました。

会場内には、地元で獲れた海産物が所狭しと並び、来場者らが新鮮な海の幸を買い求めました。

一方、多くのイベントプログラムも用意され、伊勢エビ

の重量当てや模擬入札、鮮魚の詰め放題など、魚好きにはたまらない祭りとなりました。

「味力」が豊富な本町。来場者には、ブリの炊き込みご飯、刺し身、タタキ、ブリ汁の試食が用意されたほか、露店では地元海産物の浜焼きなどで、もてなされました。

出水市から訪れた松元美三子さんは「おさかな祭りには毎年参加している。入札で競り負けて悔しい」と話しながらも、楽しんだ様子でした。

伊勢エビの重量当ては子どもたちに大人気→

←炭火で焼かれ香ばしい香りを漂わせるヒオウギ貝



# 新鮮! 美味しい!! 長島の魚、さかな、サカナ

最多の1万9千人超え